

質問回答

2014年12月8日

「(案件名)パキスタン国カラチ市内国道5号線改善計画準備調査」

(公示日:2014年11月26日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 p13、7. 成果品等 (10)動画(広報用)	成果品として DVD-R2枚(3分程度)と記載されていますが、成果品の動画のファイルの形式を教えてください。ただければ幸いです。(例えば、インターネット上に広報で使用される場合は、画像ファイルの変換処理をする必要があります。)	動画のファイル形式の指定はありませんが、Windows 環境下で動作することを基本とし、データ劣化が少なく、汎用性・互換性の高い形式が望ましいです。
2	P7、(6)環境社会配慮	「JICA ガイドラインに掲げる道路セクター及び影響を及ぼしやすい特性に該当するため、JICA 環境社会配慮カテゴリ A に分類される。」とありますが、調査の進展に応じて、カテゴリを見直すこともありますか？	調査を通して、カテゴリ分類が変更される可能性はあります。例えば、調査を通して事業スコープが変更され、環境社会面の負の影響が当初の想定よりも小さくなる、もしくは当初想定していた影響、例えば非自発的住民移転の規模が想定よりも少ないことが調査を通して判明した、といった場合には、当該事業のカテゴリ分類も変更される可能性があります。
3	P7、(6)環境社会配慮 P9、(6)環境社会配慮	P6 に「環境社会配慮助言委員会にスコーピング案と報告書ドラフトの段階で・・・」とありますが、一方で P9に「事業スコープ確定時、報告書ドラフト作成時、環境レビュー(環境社会配慮面の審査)時に JICA 環境社会配慮助言委員会が開催される予定である。」とあります。環境社会配慮助言委員会は、何回開催する予定で	事業スコープ確定時、報告書ドラフト作成時の段階で助言委員会を開催し、また、必要に応じて環境レビュー時にも助言を頂いています。したがって、調査期間中に最大3回開催する予定です。

		しょうか？	
4	P9、(7)交通量調査と将来交通量推定	<p>P3 に「本指示書の参考資料に挙げたカラチにおける運輸交通整備に係る各種調査報告書等の既存資料を十分活用し、調査の重複を避けること」とありますが、P9 の将来交通量推定を行う際に、御機構にて実施された既往調査(『パキスタン国産業育成協力プログラム(カラチ投資環境整備)準備調査(産業インフラ整備)』、『The study for Karachi transport project in the Islamic Republic of Pakistan』)にて作成された JICA STRADA 用の交通需要予測データをご提供いただくことは可能でしょうか？</p>	<p>現段階で既往調査の成果品作成過程で収集、作成した資料等の提供はできませんが、本見積は交通需要予測データの提供があると仮定してご提案ください。</p> <p>また、別見積として、交通需要予測データが提供できない場合の見積も作成してください。この場合、<u>本見積に計上して頂いた費用から追加で発生する費用を別見積に計上してください。</u></p>